

KOYODO

小淀

HOME

寿楽

平成30年3月号

JYURAKU

ホーム

Since 1996

町内もちつき大会



あんこ、きな粉、からみ、納豆！！
つき立てをみなさんでいただきました。
小淀ホームからは、豚汁をお出しました。



2月18日(日)小淀東町会のもちつき大会が小淀ホームで行われました。町内の方も大勢集まりみんなでもちをつきました。特別養護老人ホームの利用者さんたちも見学し、「よいしょ」と掛け声をかけて参加しました。

特養にて第三者評価を受けました

今年度も特養でのサービス提供のあり方を評価していただくため第三者評価を受審しました。より良いサービスを目指して取り組んでまいります。全体の評価講評は以下の通りです。

特に良いと思う点

1. 利用者が季節の変化を感じたり、遠出の外出が楽しめるよう、外出活動を工夫している
 - ・要介護度が高い状況はあるが、近隣の散歩や車で外出する機会をつくっていることを評価されました。
2. 経口での食事を継続できるよう、歯科医とともに多職種が連携し支援している
 - ・月に1回歯科医が来所し、必要な場合は嚥下内視鏡検査を行っている。経口摂取が継続できるように多職種が連携し支援している。
3. サービス担当者会議には必ず家族等の参加を得て支援方針の共有を図っている
 - ・ケアプランの見直し時には、年間スケジュールで管理し、必ず家族等が参加できるように家族の日程を確認してサービス担当者会議を開催している。家族調査でも9割が計画作成時の対応に満足していると答えている。

さらなる改善が望まれる点

1. 車イスなどの福祉用具の清掃・整備は、計画的に進めていくとよい
 - ・不定期の取り組みなので、清掃・整備にもれがないよう、チェックリストを作るなどし、計画的に進めていくとよい。
2. 利用者のプライバシーに配慮したトイレの改善を図ることを期待する
 - ・なるべく肌を見せない羞恥心に配慮した支援をしている。しかし、居室トイレはカーテンで仕切るだけで十分にプライバシーが守られる構造でない。問題意識を持っているので、早めに改善されることを期待する。
3. 苦情対応の客観性を確保するために、苦情解決第三者委員を置くことを検討するとよい
 - ・苦情受付者、区の介護保険担当などの電話番号を明示し、手続きについても分かりやすく明示している。しかし、苦情解決第三者委員を置いていないので、客観性を確保するために置くことを検討するとよい。

詳細は、とうきょう福祉ナビゲーション (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)「福祉サービス第三者評価」でご覧いただけます。